

第1回研修会

1 研究授業

本年度で3年目となる代表授業者による研究授業を行いました。

学習課題：当たりやすいダーツの的はどれか？

授業者 太田 亮平（高台中学校）

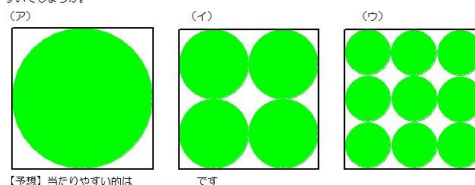
場 所 高台中学校体育館



批判的思考力（クリティカル・シンキング）を養う授業実践として、3年生を対象とした提案授業を行いました。「式の計算」より文字式を活用し、円の面積を比較する課題に取り組みました。

3種類の円の的から、ダーツが一番当たりやすい的を予想する活動を導入とし、どの的が当たりやすいのか面積を使って考えました。どの的も、同じ面積であることに気づき、新たな課題（円の個数が $n \times n$ 個の的）でも同じことが言えるのか疑問を持たせ、生徒たちは小グループでの話し合いを通して思考を深めていきました。

下の3つの図は、同じ大きさの正方形の中に円が内接しています。同じ図の中にある円の大きさはどれも等しいものとします。このとき、緑色の円の内部がダーツの的だとすると、どの的が一番当たりやすいでしょうか。



2 研究協議

協議の視点：批判的思考力は身についたか

授業後の研究協議では、小グループで授業について話し合い、その内容について発表しました。「批判的思考力を育てるために、規則性を出す前に確かめる授業展開にするのが良いのか、規則性を見つけてから確かめる授業展開にするのが良いのか」や、「長さを決めてやってみることで難易度を下げて取り組ませやすくした方が良いのではないか」、「体積でやってみるのも面白い」などの意見が出ました。



3 研修会後のアンケートより

- ・ 「本当に？」という問いは、これからの生活の中で非常に大切になっていく考え方だと思います。情報があふれているため、1つ1つの情報が正しいことを理解できるようにしていくべきだと思います。そのときに、数学の考え方が非常に有効であると考えているため、「本当にそうなのか？」という問いは生徒につけさせたい力として大切なものであると、改めて考えることができました。
- ・ 「批判的思考力」について考えるよい機会になりました。人によっていろいろな捉え方があるとはいえ、今回の提案、捉え方でよいということであれば、自分たちのこれまでやってきた実践とそうかけ離れたものではなく、安心できます。いずれにしても、基本的な知識理解、技能の育成が重要であると改めて感じました。
- ・ 体育館で行うことは多くの教員が参観しやすく良いと思う反面、教員が多すぎて生徒の素の状態があまり見れないのではないかと感じました。